

母だから、
言えなかった。

娘だから、
聞けなかった。

眉山

びざん

山

松嶋菜々子 大沢たかお 宮本信子

円城寺あや 山田辰夫 黒瀬真奈美・永島敏行 中原丈雄 金子 賢 本田博太郎・夏八木勲

監督:犬童一心/原作:さだまさし/脚本:山室有紀子/音楽:大島ミチル オリジナル・サウンドトラック/主題歌:レミオロメン「蜚」
(「眉山」幻冬舎文庫) (スピードスターレコーズ) (浮城レーベル/スピードスターレコーズ)

製作:本間英行/製作統括:島谷能成 亀山千広 見城 徹 安永義郎 谷 泰三 中村美香 櫻野孝人/エグゼクティブ・プロデューサー:市川 南 蔵田雅彦 館野晴彦
プロデューサー:遠藤 孝/ライン・プロデューサー:川田尚広/キャスティング・プロデューサー:田中忠雄/プロダクション統括:金澤清美
撮影:高井孝洋/美術:瀬下幸治/録音:志満順一/照明:足田ロシタ/編集:上野聡一/助監督:熊澤晋人/協力プロデューサー:久保田修/音楽プロデューサー:北原京子
製作:「眉山」製作委員会[東宝/フジテレビジョン/幻冬舎/博報堂DYメディアパートナーズ/関西テレビ放送/PPM/キアロスターロ(IMJ-E)]
製作プロダクション:東宝映画/特別協力:映画「眉山」支援委員会/配給:東宝/©2007「眉山」製作委員会 四角窓

www.bizan-movie.jp

そして今、私は
母の想いにたどり着く。



STORY

東京で旅行代理店に勤める咲子（松嶋菜々子）は、故郷の徳島で一人暮らし母・龍子（宮本信子）が入院したと聞いて、久しぶりに帰郷した。相変わらず気丈な母であったが、担当医よりその母が末期ガンだと知らされ咲子は愕然とする。相談もなく自分一人で物事を決めてしまう身勝手な母、父のことを決して語らない母に、寂しさ（さびしさ）とわだかまりを抱えてきた咲子。そんな咲子は母を看病する中で、医師・寺澤（大沢たかお）

と出会う。母という人間を受け入れられずに悩む咲子を寺澤は温かく包んでいく。そんな寺澤に、咲子も自然と惹かれていくのであった。残された時間の中で咲子は、寺澤に背中を押されるように、いままで知ることのなかった母の人生を知っていく。会ったことのない父のこと、母と父の切なく苦しい恋を——。やがて、母の死期が近いと悟った咲子は、母が父と果たせなかったある願いを叶えるために、母を熱狂の阿波おどりに連れ出すことに…。



最高のスタッフ・キャストが奏でる極上のアンサンブル！

原作は、国民的シンガーソングライター・さだまさしのベストセラー小説『眉山』。映画化されている『精霊流し』『解夏』を超える感動作として、幅広い世代の涙を誘っています。

母の想いを知り成長していく主人公・咲子に、テレビドラマで常に高視聴率をたたき出し、女優としての圧倒的な輝きを放ち続ける松嶋菜々子。咲子の心を優しく支える医師の寺澤に、話題作の主演が相次ぎ充実著しい俳優・大沢たかお。秘めた恋の記憶を抱えながら、女手一つで

一人娘を育ててきた母・龍子に、伊丹映画で日本映画史に一時代を築き、今回10年ぶりの映画出演となり、ますます凛とした風格を見せる女優・宮本信子。監督は、「ジョゼと虎と魚たち」(03)で日本映画界に新しい風を吹き込み、その後も次々と注目作を発表し、今や日本映画界を牽引する実力派・犬童一心。主題歌は超人気バンド・レミオロメンが担当。映画に感銘を受けたメンバーが想いを込めて書き下ろした珠玉のパラードが映画を彩ります。

母の恋と娘の恋が紡ぎ出す温かな「奇跡」の物語。

映画「眉山-びざん-」では、母の秘められた恋を尋ねる娘のドラマ、そして母と娘、娘を支える医師が織り成す感情のドラマが描かれます。3人の優しい想いが阿波おどりの夜に温かな奇跡を起こします。

娘・咲子は、母・龍子との別れと医師・寺澤との出会いの中で、母がかげがえのない存在であることを知り、その母にとって自分もまたかけがえのない<いのち>だったことを知り、人生の新たな一歩を踏み出していきます。ごく普通の生活の中では、身近であるが故に忘れてしまいがちな本当に大切なもの——家族、恋人、友人、そして故郷——をより愛おしく思える映画、それが「眉山-びざん-」なのです。

きっとあなたにもいるはずです。あなたの心を支えてくれる大切な人が——。



もう1つの主演 絢爛豪華な阿波おどり

毎年8月12日から15日に行われる徳島市の阿波おどりは、約130万人の人数があります。踊り子と観客が一体となって、壮大な乱舞が繰り広げられる一大イベント——それはまさに“街全体が踊っている”ような感じです。今回その阿波おどりを忠実に再現するために、地元自治体を中心とした“映画「眉山」支援委員会”の絶大なバックアップにより14,200人のエキストラによる大規模な撮影が敢行されました。演舞場を縦横無尽に動き回るダイナミックな映像、踊りの美しさも本作の見どころです。

残された時間の中で
娘は、母の切なく苦しい
恋を知った。



5月12日(土)心温まるロードショー！

フジTV前・アクアシティお台場
シネマメディアージュ
03(5531)7878
通常料金での全席指定・定員入替制
<http://www.cinema-mediage.com>